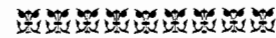


当局の尖兵=動労「本部」革マル・土屋一派を一掃し、 貨物大合理化粉砕へ全力決起する!

佐倉支部大会



第五回佐倉支部大会は、機関区講習室において、十二月三日、十二時三〇分より、千葉本部、中野委員長、山口副委員長、西森執行委員、林執行委員の参加する中、代議員、傍聴者四五名の参加の中で開催されました。

国鉄労働運動つづし、「59・2貨物合理化」の中で、参加した代議員・傍聴者は、真剣そのもので、活発な討論をとおし、闘う方針と体制をうちかためました。

貨物合理化を粉砕しよう

堀口支部長挨拶

大会はまず、能勢副支部長の力強い開会宣言で始められ、軒名執行委員の大会成立宣言ののち、議長に平川代議員を選出して進められました。

あいさつにたつた堀口支部長は、「今度の貨物合理化は、当支部始まって以来のすさまじい内容であり、絶対に粉砕しなければならぬ。同時に動労『本部』革マルの昇給協定のうらぎりは労働者として許せるものではない。衆院選挙新議員の全員当選をめざし、また、二〇年にならんとする三里塚反対同盟の不屈・非妥協の闘いとことん学び連帯して闘いぬこう」と力強く訴えました。

次いで、米資あいさつに千葉本部を代表し、中野委員長より現在の国鉄当局の攻撃および、動労「本部」革マルのうらぎりについて全面的な提起がなされました。中野委員長は、

- ① 今衆議院選挙闘争の意義
- ② 昇給協定をめぐる問題
- ③ 昇給協定での動労「本部」革マルの裏切り
- ④ 「59・2ダイ改」をめぐる貨物合理化粉砕

について基本的方針と見解を述べた上で、「これからも我々が当局を追い込んでいく道は、まだまだたくさんあり、原則を貫く闘いと職場の力をもつて必ずや闘って勝ちぬこう」と提起しました。

満場一致で方針を確認

成田労金のあいさつのうち、運動方針および規則一部改正案が提起され、質疑に入りました。主な質問の内容は、

- * 昇給問題は、今後どうなるのか。
- * 佐倉への、検査仕業・乗務員のECの仕業を増やす問題について
- * 千葉局の将来の要員需給、鷲沼基地問題。等々でした。

本部および支部からの答弁ののち、新役員を選出し、堀口支部長の音頭で団結ガンバローを三唱し、十五時過ぎ成功裡に終了しました。

日刊 動労千葉

83. 12. 20

No. 1522

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七・二〇七

新役員体制は次のとおりです。

支部長	堀口 太一	53才	機関士
副支部長	能勢 明彦	39才	検査係
書記長	宮内 正志	35才	機関士
執行委員	田中 龍美	32才	検査係
執行委員	三山 良民	40才	検査係
執行委員	室岡 孝志	26才	事務係
執行委員	軒名 貞夫	25才	検査係
執行委員	服部 和夫	25才	機関士

貨物合理化粉砕・動労「本部」革マル土屋一派解体一掃への総決起を訴える堀口支部長



支部通信員・発

選挙速報

- 1区 上野 建一 (社新)
- 2区 小川 国彦 (社前)
- 4区 新村 勝雄 (社前)
- 東京 10区 洪沢 利久 (社元)

当選を果たす!

3区 辻田実候補善戦
45,904票(次点)

★ 労働者・人民の怒り、自民党・田中・中曾根を追いつめる。「59・2、国鉄反一」「3・25」三里塚二期阻止決戦の猛爆発で、中曾根を更に追いつめ、実力打倒しよう! 組合員各位の奮闘、ありがとうございました。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ!